

要 覧

平成28年度



福岡県立図書館シーボルトコレクション「日本植物誌」より（「ツクシシャクナゲ」）

福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	基 本 方 針	3
3	平成27年度事業	4
4	平成27年度図書館評価	10
5	組 織	11
6	福岡県立図書館協議会委員	12
7	予 算	12
8	施 設 の 概 要	13
9	利 用 案 内	13
10	統 計 資 料	15

表紙「ツクシシャクナゲ *Rhododendron metternichii*」

当館所蔵 シーボルト編『FLORA JAPONICA』（日本植物誌）より。

シーボルトは、日本で収集した多くの標本を本国オランダへ持ち帰りました。

『FLORA JAPONICA』（日本植物誌）はその標本をもとに編纂され、1835年から1870年にかけて第一編10冊、第二編10冊が刊行されました。

この資料では、彩色された150の図版が紹介されています。

当館所蔵本は、全一冊に合冊製本されています。

1 沿 革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 4年12月 (1915年)	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書54,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成 7年 3月31日	別館竣工
平成 7年 4月 7日	別館開館、一般供用開始
平成 7年 6月 2日	別館落成式
平成 7年11月10日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手

平成 8年	3月15日	同上竣工
平成 8年	3月22日	電算による業務開始
平成10年	5月15日	インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件) 「ふくおか生涯学習ネットワーク」 (アドレス http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
平成11年	4月 1日	福岡県立図書館組織規則改正 インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる (福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報計130万件)
平成12年	3月	図書館協力車として車1台の寄贈を受け、更新 (平成16年度以降資料配送業務を外部委託)
平成13年	10月	別館子ども図書館増改築工事着手
平成14年	2月22日	同上竣工
平成14年	4月23日	子ども図書館開館記念式典
平成15年	8月	ビジネス支援情報コーナー設置
平成16年	2月	新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始 (アドレス変更 http://www.lib.pref.fukuoka.jp/) ネットワーク加入館の拡大(H25.3現在48館)
平成17年	1月	平成16年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成17年	4月	休日開館実施
平成17年	11月	「学校支援サービス」の拡充(学校貸出図書セット運用開始)
平成19年	7月24日	青少年と暮らしの交流室設置
平成21年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成22年	3月	在架予約サービス開始
平成22年	10月	遠隔地貸出・返却サービス本格実施
平成24年	10月	福岡市立図書館との相互返却を開始
平成25年	6月	福岡県公共図書館等協議会において、全県的に 「学校支援サービス」本格実施
平成25年	11月	第99回全国図書館大会福岡大会開催
平成26年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成27年	2月	平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)

2 基本方針

目標1：福岡県の文化を継承し、地域で活躍する人財を育てるお手伝いをします。

(1) 郷土資料センターとしての役割

- ① 福岡県に関する出版物及び県内出版物の収集・保存・提供により、福岡県の文化の継承・発展を目指します。
- ② 過去から現在に至る、福岡県関係の資料・情報をデジタル化して公開し、県全体としてのデジタル・アーカイブの構築を目指します。
- ③ 県立図書館独自の福岡県に関するレファレンス・ツールの作成と、レファレンス事例の蓄積・公開により、ビジネスや教育など、地域の課題解決に貢献します。

(2) 県内図書館活動の推進拠点としての役割

- ① 市町村立図書館等職員に対する研修等を行うとともに、「福岡県公共図書館等概況」の刊行など図書館運営等に関する情報提供や市町村立図書館等への巡回相談を実施するなど、市町村立図書館等の活動を支援します。
- ② 「福岡県図書館情報ネットワーク」の運営により、市町村立図書館だけでなく、大学・学校・専門図書館を含む県内図書館間の相互貸借の充実に貢献します。
- ③ 「福岡県公共図書館等協議会」、「福岡県図書館協会」、「福岡県点字および録音図書連絡協議会」などの活動を通じて、館種を超えた図書館間の相互協力を推進します。
- ④ 図書館ボランティアとの連携およびボランティアの育成を図ります。

目標2：日々の暮らしや仕事の中での、課題解決のお手伝いをします。

(1) 資料収集保存センターとしての役割

- ① 日々高度化・多様化する県民の資料要求に応えるため、ビジネス、医療・福祉情報、法律、教育、子育て、地域活性化等の資料を、入門書から専門書、参考図書に至るまで、重点的に収集・提供します。
- ② 青少年向け資料を含む子ども読書活動推進に関する資料・情報の充実に努めます。
- ③ 福岡県内の状況等も考慮して利用の多い言語を中心に、外国語資料を収集・提供します。
- ④ 読書に困難のある人へのサービスとして、大活字本やデージー図書・マルチメディアデージー図書等を収集・提供します。

(2) 資料情報センターとしての役割

- ① 高度情報化社会に対応した図書館サービスとして、主要新聞や判例等のデータベースの充実と活用を推進します。
- ② 国立国会図書館や国立情報学研究所、サピエ図書館等と連携し、幅広い資料・情報の提供に努めます。
- ③ レファレンス事例を蓄積し、自館ホームページ及び国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに登録・公開し、全国レベルでの情報共有に努めます。
- ④ 「障害者差別解消法」に適切に対応した運営等により情報アクセスの改善に努めます。

目標3：読書の喜び、心の豊かさを育むお手伝いをします。

(1) 子どもの読書活動の推進拠点としての役割

- ① 子ども（18歳以下）が本に親しむための取組や技術の充実を図り、市町村の子どもの読書活動推進に貢献し、県内の読書ボランティア活動を支援します。
- ② 学校や学校図書館との連携を深め、学校での子どもの読書活動や課題解決のための調べ学習を支援します。
- ③ 近隣小・中学校と連携し、子どもの読書推進活動に関する調査研究を行い、読書を通じた学校教育に役立つ情報を提供します。

(2) 大人の読書活動の推進拠点としての役割

- ① テーマ別の図書展示や、新刊図書の効果的な展示等により、大人の読書活動推進に貢献します。
- ② 社会の変化や課題に対応したテーマに関する講演会や交流型イベントを企画し、読書への関心を呼び起こす取組に努め、大人の読書活動推進に貢献します。
- ③ 図書館を活用した学習活動の展開のために、施設・設備・資料の提供に努め、利用者の情報リテラシーの向上を支援します。

3 平成27年度事業

(1) 研修・講座等

事業名		開催月日	内 容	参加者等
読書週間関連事業	1日 小学生 4～6年生	4月25日(土)	① 子ども図書館でのカウンター体験 ② お話の時間のお手伝いなど	小学校 4～6年生 6名
	一般 (中学生以上)	11月1日(日)	① 図書館についての概要説明 ② 館内見学 ③ 検索・パーソナルサービスの活用方法説明 ④ 本の装備・補修体験	県民一般 3名
	おうちの人のための 絵本講座	11月11日(水)	① 絵本と読み聞かせの話 県立図書館職員	県民一般 24名(大人12、 子ども12)
	読書推進大会 (芦屋町大会)	12月13日(日)	優良読書グループ表彰・活動報告・講演会 講演 「ペコロスの母に会いに行く」 マンガ家・シンガーソングライター 岡野 雄一 氏	県民一般 150名
	読書講演会	11月14日(土)	講演 「がん」っていったいどんな病気なの？ 講師 九州がんセンター副院長 古川 正幸 氏	県民一般 52名

事業名		開催月日	内 容	参加者等	
図書館講座	創業セミナー (社)福岡県中小企業診断士協会共催事業	5月16日(土)	「事業計画での創業の不安を解消」 中小企業診断士 狭間 流 氏	県民一般 30名	
		9月5日(土)	「創業時の融資制度と融資審査の着眼点」 日本政策金融公庫 福岡創業支援センター所長 瀬之口 康弘氏	10名	
		11月7日(土)	「フランチャイズ加盟の基礎知識」 中小企業診断士 柴垣直樹氏	10名	
		2月6日(土)	「創業の手続きと経営知識」 中小企業診断士 田中直人氏、道津敬文氏	21名	
	仕事と暮らしに役立つ法律セミナー 福岡県青年司法書士協議会共催事業	6月20日(土)	「よくわかる相続！」	県民一般 12名	
		10月31日(土)	「遺言のすすめ」	12名	
		12月12日(土)	「成年後見制度」	18名	
		2月20日(土)	「空き家に関する諸問題」	23名	
	70歳現役応援セミナー 福岡県新雇用開発課、福岡県70歳現役応援センター共催事業	4月15日(水)	「定年からのしごと探し」	県民一般 19名	
		6月17日(水)	「中高年のための起業セミナー」	19名	
7月15日(水)		「定年からはじめるボランティア」	19名		
8月19日(水)		「定年からのしごと探し」	11名		
9月16日(水)		「中高年のための起業セミナー」	18名		
10月21日(水)		「生涯現役!!健康づくりのすすめ」	14名		
11月18日(水)		「定年からはじめるボランティア」	16名		
12月16日(水)		「定年からのしごと探し」	25名		
1月20日(水)		「生涯現役!!健康づくりのすすめ」	11名		
2月17日(水)		「中高年のための起業セミナー」	15名		
3月16日(水)		「定年からはじめるボランティア」	18名		
公共図書館等職員研修会		基本研修	初任者研修会	5月25日(月) 5月26日(火)	対象：図書館業務初任者 内容：図書館活動概論、図書館概論、 図書館サービス、接遇、実習 講師：(接遇) マインストラクター 西藤 孝子 氏 (その他) 県立図書館職員
	中堅職員研修 ※福岡県図書館協会設立10周年記念講演会と兼ねる		3月11日(金)	対象：福岡県図書館協会会員館職員等 内容：講義 「データから見る図書館の資料選択」 講師 日本女子大学文学部准教授 九州大学附属図書館研究開発室訪問研究員 大谷 康晴 氏 講義 「障害者差別解消法と図書館の運営・サービス」 講師 日本図書館協会/障害者サービス委員会 日本図書館研究会理事長 前田 章夫 氏	公共図書館・ 公民館職員等 101名

事業名		開催月日	内 容	参加者等
公共図書館等職員研修会	資料整理保存研修会	10月26日(月)	対象：県内公共図書館・図書室等職員 内容：資料補修の基礎に関する講義・実習 講師：長崎市立図書館 浦川 康子氏	公共図書館・公民館職員等 20名
	郷土資料研修	10月 5日(月)	対象：公共図書館等の職員 内容：郷土資料に関する講義、演習等	公共図書館・公民館職員等 24名
	レファレンス研修	11月16日(月) 11月30日(月)	対象：図書館勤務延べ1年以上5年未満の職員 内容：ハイブリッド情報検索、レファレンス課題調査、人文分野の調べ方、医療情報の探し方、統計資料の探し方	28名 (21館)
子どもと読書研修会	児童図書館入門講座(全4回)	6月 1日(月) 6月 8日(月) 6月22日(月) 7月 6日(月)	対象：児童サービス経験2年未満 内容：読み聞かせ、ストーリーテリングについての講義及び実習	公共図書館・公民館職員等 37名 (延べ148名)
	書評講座 ※子ども読書推進事業「ボランティアスキルアップ講座講座」と合同開催	12月14日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員、教職員、学校司書等 内容：講義「子どもの本の書評の書き方」 講師 東京子ども図書館 飯野 美帆子 氏 実習・講評 講師 東京子ども図書館 飯野 美帆子 氏	公共図書館・公民館職員・ボランティア等 講義のみ 104名 実習 15名 (延べ119名)
子ども読書推進事業	「福岡子どもの読書ボランティアの集い」	2月1日(月)	講演：「まどさんの宇宙」 編集者 松田 素子 氏 事例研究：「子どもの今と本～特別支援学級から見る子ども・学校そして本」 春日市立春日小学校教諭 上野 恵子 氏	図書館職員・教職員・社会教育関係職員・ボランティア等 101名
	青少年読書推進事業「青少年読書推進講座」	8月27日(月)	講演：「中高生の居場所になる図書館をつくる～図書館をどうPRしていくか～」 図書館サービス計画研究所代表 仁上 幸治 氏	図書館職員・教職員・社会教育関係職員・ボランティア等 134名
	書評講座 ※「子どもと読書」研修会専門講座と合同開催	12月14日(月)	対象：県内公共図書館(室)職員、教職員、学校司書等 内容：講義「子どもの本の書評の書き方」 講師 東京子ども図書館 飯野 美帆子 氏 実習・講評 講師 東京子ども図書館 飯野 美帆子 氏	公共図書館・公民館職員・ボランティア等 講義のみ 104名 実習 15名 (延べ119名)

事業名		開催月日	内 容	参加者等
ボランティア講座等	録音図書製作（音声訳・校正）ボランティア養成講座	9月2日～10月28日の毎週水曜日（全8回）	録音図書製作のための技術研修	県民一般 30名
	音訳等ボランティア研修会	12月9日（水）	講演「障害者サービスについて」 「ボランティア活動について」 講師 福岡点字図書館 館長 吉松 政春 氏	音訳等 ボランティア 74名
	製本ボランティア養成講座（全4回）	6月22日（月） 29日（月） 30日（火） 7月 6日（月）	図書館資料を補修するための技術研修 講師 県立図書館資料課担当職員	県民一般 9名
その他事業	夏休み子ども図書館員体験	7月29日（水）	① 子ども図書館でのカウンター実習 ② 読み聞かせをしてみよう！ ③ おはなし会に挑戦 ④ 図書館探検	小学校 4～6年生 8名
	九州・沖縄地区図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ	1月25日（月）	講演・事例発表 「いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる地域づくりをめざして」 慶應義塾大学 田村 俊作 氏 愛媛大学医学部附属病院患者図書室 塩見 美幸 氏 長崎市立図書館 下田 富美子 氏 埼玉県立久喜図書館 小西 美穂 氏 大阪南医療センターがん相談支援センター 萬谷 和広 氏 グループディスカッション	医療関係者 ・図書館 58名

（2）大会等

事業名	開催月日	内 容	参加者等
第49回 福岡県地方史研究 協議大会	6月27日（土）	テーマ：福岡県の近世城郭4 陣屋 講演 「筑前の陣屋 ―秋月陣屋と直方陣屋―」 九州歴史資料館 岡寺 良 氏 「日本で最後に築かれた城 ―旭城のことなど―」 美夜古郷土史学校 山内 公二 氏 「三池藩立花家の歴史と三池陣屋について」 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 梶原 伸介 氏	地方史に関心のある県民 120名
福岡県地方史研究 連絡協議会 地区研究集会	11月 7日（土）	筑前地区 黒崎コムシティ（北九州市） 研究発表 「黒崎宿と秋月藩黒田家」 「九州鉄道大蔵線」	
	11月14日（土）	筑後地区 大牟田文化会館（大牟田市） 研究発表 「三池炭鉱の産業革命遺産―世界遺産への軌跡―」 「まぼろしの地元ソング発掘―大牟田・船小屋・久留米―」	
	11月21日（土）	豊前地区 行橋市中央公民館（行橋市） 研究発表 「豊前国の享保の飢饉供養塔」	

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	平成28年1月～2月のうち延べ19日間	「竹田文庫」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
3月12日～ 5月21日	「本の声が聞こえる～汚破損資料の展示～」	本館1階展示コーナー
7月 7日～ 8月30日	「芥川賞・直木賞この80年 郷土にゆかりのある作家を中心に」	
9月15日～11月18日	「ご存知ですか？福岡県立図書館ボランティア」	
2月 2日～ 5月 1日	「地震に備える」	
6月 2日～ 6月21日	映画資料展示 第1回「映画に見る太平洋戦争」	本館1階展示コーナー
12月 1日～ 1月24日	第2回「映画の世界（なか）の未来と現在 （いま）が重なる時・・・SF映画特集」	
郷土資料ミニ展示		
「福岡大空襲と福岡県立図書館」（5月～6月） 「福岡の終戦」（7月～8月） 「福岡県立図書館の戦後」（9月～11月） 「英彦山」（12月～2月） 「学校給食」（3月～4月）		本館3階エレベーターホール

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 平成27年度
福岡県立図書館報 (No.71)
第49回 福岡県地方史研究協議大会

(6) 職場体験活動等受入状況

事 業 名	期 間	活 動 内 容 等	参加者等
中学生・高校生 職場体験活動	8月27日 9月 9日～11日 2月 3日 2月25日～26日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	13名 (延べ21名) 計 4校
高校生インターンシップ	8月 5日～ 7日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館） 資料課業務（資料整理）	4名 (延べ12名)
県立高等学校初任者研修に係る体験活動研修	8月12日～14日	カウンター業務（貸出・返却等） 企画協力課業務（相互貸借作業・子ども図書館）	4名 (延べ12名)
大学生図書館実習	8月17日～28日	カウンター業務（貸出・返却等） 郷土資料課業務（資料整理等） 企画協力課業務（子ども図書館・相互貸借作業） 資料課業務（資料整理）	2名 (延べ20名)

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

事業名	期間	内 容	参加者等
総会・館長等研修会	5月15日(金)	講演「地域創生時代の公共図書館～その施策と評価の展望～」 講師 瀬戸内市教育委員会新図書館開設準備室長 嶋田 学 氏	58名
職員研修会	第1回 8月3日(月)	講演「図書館の枠を越えた図書館の可能性～まちライブラリーの活動を通して気づいたこと～」 講師 まちライブラリー提唱者 磯井 純充 氏 講演「次世代に生き残る図書館とは？」 講師 ハフィントンポスト日本版記者 猪谷 千香 氏	図書館職員・教職員・社会教育関係職員・ボランティア等 91名
	第2回 1月18日(月)	研修視察 糸島市立図書館 講演「公共図書館における著作権」 講師 福山平成大学 副学長 尾崎 史郎 氏	公共図書館・公民館職員等 130名
理 事 会	5月15日(金) 11月27日(金) 3月18日(金)	事業計画等の検討 協議会内の連携協力を図るための情報交換等 「学校支援サービスの具体的取組」について	
各種委員会	資料収集・保存委員会 7月 9日(木) 2月 4日(木)	地域(郷土)資料のデジタル化について 「福岡県郷土資料分類表(改訂第2版修正版)」について	
	研修委員会 10月 2日(金) 2月12日(金)	県協議会主催の研修会の企画検討	
出 版	「平成27年度 福岡県公共図書館等概況」		

(8) 福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

総 会	6月26日(金)	会場 福岡県立図書館	39名
担当者連絡会	11月13日(金)	会場 久留米市立中央図書館	
職員・ボランティア 研修会	2月 5日(金)	会場 福岡市総合図書館 講演 「視覚障がい者の理解を深めるために～歩行訓練士の立場から～」 講師 福岡市立心身障がい福祉センター 宮崎 涼二 氏	

4 平成27年度図書館評価

図書館法第7条の3及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、平成27年度の運営状況についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図っています。

(1) 図書館評価の概要

① 評価項目

福岡県立図書館が有する5つの機能

- (ア) 資料収集保存センター機能、(イ) 資料情報センター機能、
 - (ウ) 郷土資料センター機能、(エ) 市町村立図書館の援助センター機能
 - (オ) 子どもの読書活動推進拠点機能
- の下に38個の評価項目を定め、評価項目毎に数値目標を定めました。

数値目標値は、24～26年度の3年間平均値と同程度以上としています。26年度の実績値と乖離している場合は、26年度の実績値と同程度としています。

② 評価方法

評価項目毎に達成率（27年度実績／27年度目標×100）を算定し、評価しました。

達成率	評価
95%以上	ほぼ達成できた (◎)
90%以上 95%未満	あとわずかで達成 (○)
90%未満	達成できなかった (△)

- ・ 機能毎の評価項目数に占める「ほぼ達成できた」以上の評価項目数の割合を出し、3分の2以上あればその機能は達成とします。
- ・ 機能毎の達成状況に占める「達成」とした機能数の割合を出し、3分の2以上あれば図書館全体として達成とします。

(2) 図書館評価の結果

① 達成状況

機能毎及び図書館全体の達成状況は、次のとおりです。（括弧書きは前年度の状況）

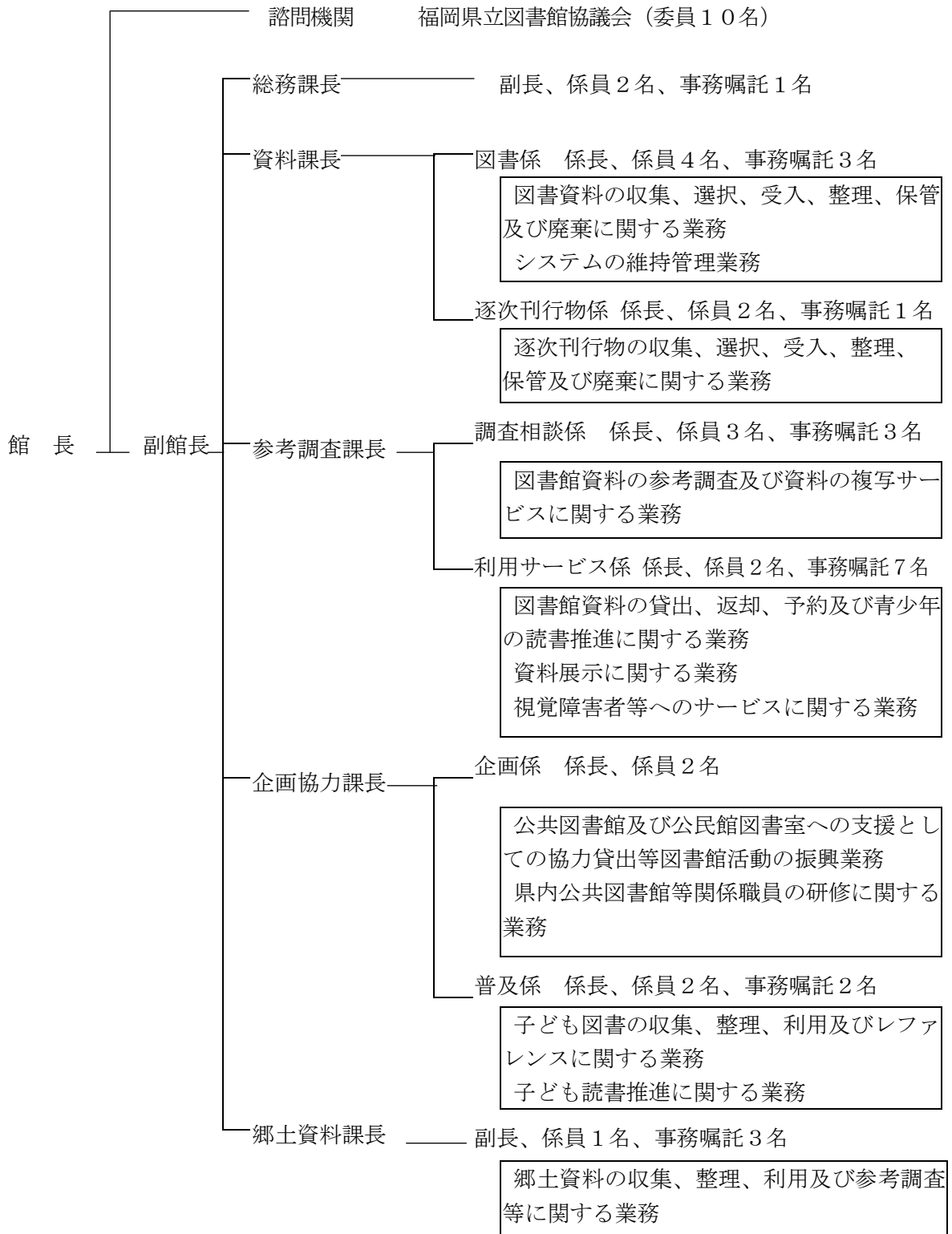
機能	評価項目数	◎以上の数	達成状況
ア 資料収集保存センター機能	5 (5)	5 (5)	達成 (達成)
イ 資料情報センター機能	13 (13)	12 (11)	達成 (達成)
ウ 郷土資料センター機能	7 (7)	5 (5)	達成 (達成)
エ 市町村立図書館の援助センター機能	5 (5)	5 (4)	達成 (達成)
オ 子どもの読書活動推進拠点機能	8 (8)	6 (7)	達成 (達成)
図書館全体	38 (38)	33 (32)	達成 (達成)

② 全体評価

①の達成状況で示しているとおり、福岡県立図書館が有する5つの機能を全て「達成」したため、図書館全体としては「達成」していると考えています。

5 組 織

平成28年4月1日現在



6 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	役職名 (就任時)	委員任期	摘要
学校教育関係者	永井 勝子	新宮町立立花小学校長	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
〃	吉田 和裕	福岡県立福岡視覚 特別支援学校長	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
社会教育関係者	松尾 有子	読書ボランティア	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
〃	一ノ瀬 留美	筑後市立図書館長	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	久家 直子	福岡県PTA連合会 副会長	H28. 7. 22～H29. 9. 7	
学識経験者	薬袋 秀樹	筑波大学名誉教授	H27. 9. 8～H29. 9. 7	会長
〃	石田 栄美	九州大学准教授	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
〃	長谷川 澄男	福岡県書店商業組合 相談役	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
〃	八尋 和郎	九州経済調査協会 事業開発部長	H27. 9. 8～H29. 9. 7	
〃	堀 大助	福岡県議会議員 (文教委員)	H27. 9. 8～H29. 9. 7	

平成28年7月22日現在
10名 任期2年

7 予 算 (平成28年度)

事 項 名	金 額
運 営 費	126,842 千円
図書資料購入費	77,459 千円
読書推進活動及び図書館普及費	321 千円
図書資料整備費及び録音図書運営費	923 千円
図書館業務委託事業費	21,461 千円
合 計	227,006 千円

8 施設の概要

本 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）		
敷地面積	3,329㎡	建築面積	1,747㎡
延床面積	7,945㎡	総工費	2,484,715千円

別 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地上5階建）		
敷地面積	1,653㎡	建築面積	809㎡
延床面積	3,269㎡	総工費	459,329千円
（うち子ども図書館増築分）	150㎡		64,960千円）

9 利用案内

（1）開館時間

本 館	第1閲覧室（1F）	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	青少年と暮らしの交流室（1F）	
	第2閲覧室、新聞室（2F）	
	郷土資料室（3F）	
別 館	子ども図書館（1F）	午前9時～午後5時
	学習室（3F）	午前9時～午後7時（日曜日は午後5時まで）
	録音図書室（5F） ボランティアルーム	午前9時～午後5時 （一般の方の利用はできません）

（2）休 館 日 （平成28年度）

毎週月曜日	
図書整理日	（毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館）
特別整理期間	（平成29年3月1日から3月8日）
創立記念日	（4月1日）
年末年始	（12月28日から1月4日）

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸し出しています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証など）の提示により登録を行い、利用者カード（発行日から3年間有効）を発行して、その日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間（貸出日を含む。）です。

② 予約サービス

電話や当館ホームページで在架資料の取置予約もできます。

③ 遠隔地貸出・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館（県内外の公共図書館・国立国会図書館等）から借り受けて利用に供しています。

⑤ インターネットによるサービス

インターネット上のホームページから、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、パーソナルサービスとして利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。

所蔵資料の情報提供サービスは県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、平成28年6月現在、参加52館（県立図書館含む図書館（室）・専門図書館等）の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。

⑥ 複写サービス

所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。

⑦ レファレンスサービス

日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。

電話、FAX、文書、Eメールでの相談も受け付けています。

⑧ ビジネス支援サービス

起業、就職、資格取得等の情報提供、支援を行っています。

新聞記事、判例その他ビジネス情報のデータベースが利用できるほか、インターネット情報検索用パソコンも設置しています。

また、起業・経営相談会、法律セミナーを公益団体と共催しています。

⑨ 学校支援サービス

学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、学校貸出図書セットの提供、図書館活用リーフレットの作成を行っています。

⑩ ユニバーサルサービス

読書に困難のある人（視覚障害だけではなく失読症等の学習障害などがある方も対象）へのサービスのため録音図書の提供を行っています。

録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。

また、拡大読書器を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。

10 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	25年度末現在	26年度末現在	27年度末現在
一般	669,027	687,359	704,511
郷土	42,817	44,035	45,503
子ども	88,895	91,197	93,667
小計	800,739	822,591	843,681
学校貸出セット	5,826	8,141	8,173
計	806,565	830,732	851,854

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

	25年度末現在	26年度末現在	27年度末現在	
雑誌	一般	10,542	10,009	9,823
	郷土	7,112	7,279	7,364
	子ども	166	169	169
	計	17,820	17,457	17,356
新聞	一般	245	256	250
	郷土	254	259	261
	子ども	4	4	4
	計	503	519	515
法令集	20	20	5	
規格資料等	4	4	4	
合計	18,347	18,000	17,880	

③ その他資料

	25年度末現在	26年度末現在	27年度末現在	
マイクロ資料	一般室	1,853 リール	1,881 リール	1,918 リール
	郷土室	5,819 リール	5,543 リール	5,617 リール
	計	7,672 リール	7,424 リール	7,535 リール
	フィッシュ	11,141 枚	11,141 枚	11,141 枚
レコード	1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚	
ビデオ、CD-ROM等	1,982 点	2,031 点	2,051 点	
視力障害者用録音資料	17,246 巻(枚)	17,457 巻(枚)	17,700 巻(枚)	
AVルーム資料	C D	524 タイトル	524 タイトル	524 タイトル
	L D	350 タイトル	350 タイトル	350 タイトル
	ビデオ	24 タイトル	24 タイトル	24 タイトル
布の絵本	161 冊	122 冊	128 冊	

④ 特別コレクション

i 当館所蔵資料

福岡県史編さん資料	795 点
黒田家文書（藩政資料）	470 点
大田資料（藩政資料）	554 点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305 点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375 点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約 6,000 点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約 1,000 点
福岡県農業総合試験場資料	178 点
波多江文庫（現代蒐書）	約 30,000 冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約 400 冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約 20,000 点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画 4,682 タイトル 洋画 9,685 タイトル
四部叢刊（中国の善本覆刻集成）（全刊揃）	2,100 冊
西日本童話博記念文庫	約 1,300 冊
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）西日本新聞（昭和17年以降） 糸島新聞、両筑新報、朝倉新聞	
その他の貴重資料 筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」 福岡県関係近世古地図 「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」 「柳河郭内之図」ほか多数	

ii 寄託資料

竹田文庫（藩儒記録）	約 4,000 点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864 冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約 1,000 点
夢野久作資料（小説家遺品）	約 100 点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774 冊
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約 400 冊
方城町収集古文書（町文化財）	約 1,000 点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約 880 点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等 1,200 点 雑誌 43 タイトル

⑤ 古文書等複製化状況（平成27年度）

i マイクロフィルム撮影

（単位：巻）

No.	資料名	マイクロリール数
1	瀧口文書	24
2	郷土図書（警察頭彰録ほか）	50
計		74

ii デジタル化

No.	資料名	資料点数
1	『詳説福岡県議会史』附図	8
2	魯西亜人梅ヶ崎昆布蔵え上陸之間魯西亜船之番並固船之図 （福岡県史編さん資料666）ほか	3
計		11

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		26年度末現在	27年度増	27年度末現在
総	記	63,130	654	63,784
哲	学	35,756	1,175	36,931
歴	史	77,560	2,585	80,145
社	会 科 学	153,216	4,367	157,583
自	然 科 学	56,402	1,882	58,284
技	術	53,080	1,760	54,840
産	業	35,316	1,073	36,389
芸	術	59,426	1,549	60,975
言	語	12,917	277	13,194
文	学	199,137	4,728	203,865
布	の 絵 本	122	6	128
紙	芝 居	1,547	41	1,588
行	政	30,947	△475	30,472
郷	土	44,035	1,468	45,503
計		822,591	21,090	843,681
行政資料 (再掲)	福岡県	6,535	63	6,598
	福岡県市町村	4,194	91	4,285
	国	16,809	△630	16,179
	都道府県	3,409	1	3,410

※ 学校貸出セットを除く。

② 逐次刊行物

		26年度末現在 タイトル数	27年度増 タイトル数	27年度末現在 タイトル数	
雑	総 記 (G)	937	15	952	
	人 文 (C)	590	△97	493	
	社 会 (S)	1,672	20	1,692	
	科学・技術 (T)	2,060	△138	1,922	
	文 芸 (L)	1,125	9	1,134	
	郷 土 (K)	4,494	63	4,557	
	子 ど も (J)	169	0	169	
誌	行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,785	22	2,807
		国及び都道府県	3,625	5	3,630
	計	17,457	△101	17,356	
新 聞	一 般	256	△6	250	
	郷 土	259	2	261	
	子 ど も	4	0	4	
	計	519	△4	515	
法 令 集		20	△15	5	
規格資料等		4	0	4	
合 計		18,000	△120	17,880	

(3) 利用状況

① 入館者数

	25年度	26年度	27年度
入館者数	571,456(1,971)	491,212(1,676)	442,490(1,510)
年間開館日数(日)	290	293	293

※()は1日平均

② ホームページ・アクセス数

	25年度	26年度	27年度
トップページアクセス数	460,848	470,756	465,502

③ 図書資料貸出状況

		25年度	26年度	27年度
登録者数 (人)	一般	99,689	104,327	108,603
	子ども	4,827	4,862	5,561
	計	104,516	109,189	114,164
利用件数 (人) (相互貸借を含む)	一般	105,680	153,195	162,052
	子ども	20,063	14,670	14,610
	計	125,743	167,865	176,662
貸出冊数 (冊) (相互貸借を含む)	一般	351,483	367,289	377,565
	子ども	96,592	98,116	104,484
	計	448,075	465,405	482,049

録音図書

		25年度	26年度	27年度
個人	登録者数(人)	289	293	298
	利用冊数(冊)	1,451	1,403	1,747
	利用巻数(巻)	2,599	1,883	2,350
団体	利用団体数	39	61	92
	利用冊数(冊)	151	281	943
	利用巻数(巻)	385	374	1,005

遠隔地貸出・返却サービス利用件数

	25年度	26年度	27年度
受取利用(冊)	7,600	6,955	8,212
返却利用(冊)	4,118	4,155	4,058
計	11,718	11,110	12,270
協力館(館)	52	53	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	25年度	26年度	27年度
貸出(再掲)	15,134(うち県外1,060)	17,365(うち県外1,209)	18,727(うち県外1,378)
借受	3,693(うち県外451)	4,366(うち県外510)	4,810(うち県外823)

※ただし「県外」は公共図書館のみ

学校貸出図書セット

(単位:セット)

貸出状況(再掲)	25年度	26年度	27年度
	190	208	219

④ 資料の特別利用

	25年度	26年度	27年度
1 資料の復刻・翻刻	3件	3件	5件
2 資料掲載	75件	47件	76件
3 資料の放映	18件	35件	31件
4 その他(展示等)	23件	24件	52件
計	119件	109件	164件

⑤ 複写利用状況

		25年度	26年度	27年度
件数	第2閲覧室	5,920	5,217	5,395
	郷土資料室	3,836	3,936	3,555
	計	9,756	9,153	8,950
枚数	第2閲覧室	112,480	89,496	104,546
	郷土資料室	73,176	75,815	67,764
	計	185,656	165,311	172,310

※ カラーコピーは1枚30円、モノクロ、マイクロコピーは1枚10円

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	25年度	26年度	27年度
枚数	8,232枚	8,739枚	15,809枚

⑦ 「おはなし」の時間

日時	対象	内容		
毎週水曜日11時	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ		
〃 16時	3～5歳	ストーリーテリング		
毎週土曜日14時	小学生	紙しばい ほか		
		25年度	26年度	27年度
実施回数		145回	143回	147回
参加延人数		2,890人 (うち子ども 1,669人)	2,176人 (うち子ども 1,092人)	2,129人 (うち子ども 864人)

⑧ 子ども情報ルーム 学習目的利用者(内パソコン利用者)

	25年度	26年度	27年度
利用者数(人)	335(59)	421(157)	764(190)

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況

	25年度	26年度	27年度
講師派遣件数(回数)	15件(24回)	13件(18回)	13件(22回)

⑩ 資料補修講師派遣状況

	25年度	26年度	27年度
講師派遣件数(回数)		1件(1回)	2件(2回)

⑪ レファレンス件数

		25年度	26年度	27年度
面 談	一 般	33,591	40,537	41,214
	郷土資料室	3,443	3,436	3,284
	子ども室	3,999	4,006	5,433
	計	41,033	47,979	49,931
電 話	一 般	10,750	11,924	14,128
	郷土資料室	1,058	1,257	1,391
	子ども室	641	83	352
	計	12,449	13,264	15,871
文 書	一 般	178	646	349
	郷土資料室	152	59	86
	子ども室	0	0	0
	計	330	705	435
F A X	一 般	234	167	99
	郷土資料室	190	248	103
	子ども室	1	0	0
	計	425	415	202
Eメール	一 般	597	943	2,071
	郷土資料室	449	330	576
	子ども室	5	0	0
	計	1,051	1,273	2,647
ウオンテット [®] (所在調査用掲示板)	一 般	178	194	184
	郷土資料室	0	0	1
	子ども室	0	0	0
	計	178	194	185
合 計	一 般	45,528	54,411	58,045
	郷土資料室	5,292	5,330	5,441
	子ども室	4,646	4,089	5,785
	計	55,466	63,830	69,271

⑫ 書庫出納

	25年度	26年度	27年度
総記	3,894	3,106	5,491
哲学・宗教	3,062	2,703	3,482
歴史・地理	5,601	5,032	5,848
社会科学	6,218	5,820	6,213
自然科学	2,206	1,801	1,888
工学	2,165	1,878	2,142
産業	1,930	1,459	1,493
芸術	3,223	2,747	3,124
言語	764	556	722
文学	9,045	8,782	4,796
雑誌	11,936	15,571	12,708
子ども	20,094	15,790	15,617
郷土	10,076	9,841	9,453
その他※	3,549	3,910	3,646
合計	83,763	78,996	76,623

※「その他」には、新聞・AV資料・行政資料等を含む。

⑬ 県内公共図書館設置状況

	25年度末	26年度末	27年度末
市立	28(28)	28(28)	28(28)
町立	23(30)	24(30)	24(30)
村立	0(2)	0(2)	0(2)
合計	51(60)	52(60)	52(60)

()内は市町村数を表示している。

⑭ 録音図書室

○ 沿革

- 昭和40年 4月 盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11月認可
- 11月 録音図書吹込開始(朗読ボランティア7名)
- 昭和42年 4月 福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足
蔵書 25冊(68巻) 利用登録者 22名
- 昭和48年 4月 オープンリールからカセットに切り替える
- 昭和50年 録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」 創立
- 昭和53年 2月 逐次刊行物「暮らしの手帖」録音版発刊
- 昭和53年 2月 朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
- 10月 日本点字図書館団体登録が承認される
- 12月 国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
- 昭和56年 9月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
- 昭和58年 4月 福岡県立図書館録音図書室としてスタート
- 昭和63年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞する
- 平成 2年 6月 福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
- 平成 6年10月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡県教育文化功労者として表彰を受ける
- 平成 8年10月 録音図書校正ボランティア養成講座開催
(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
- 平成11年 4月 福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
- 平成16年 5月 福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
- 平成19年12月 デイジー図書(デジタル音声情報システムによる録音図書)の貸出開始
- 平成22年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更する
- 平成24年 4月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館に加入
- 平成25年 9月 福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞(財団法人鉄道弘済会ほか主催)を受賞
- 平成27年 7月 サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)図書館でのオンラインリクエスト受付開始
- 平成27年11月 「福岡県立図書館音訳の会」創立40周年記念講演会

(平成28年4月現在 音訳ボランティア46名)

○所蔵冊数 4,303冊(17,700巻)

